



滋賀短期大学 学 報

2016. 12. 1

No. 80

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 広報・図書委員会 電話(077)524-3605

ホームページアドレス <http://www.sumire.ac.jp/tandai/>



第47回純美禮祭ステージ

認証評価制度のもとでの自己点検・評価活動

滋賀短期大学学長 佐藤 尚武



高等教育機関における認証評価制度は、学校教育法の改正により平成16年4月に施行され、その評価に向けて認証評価機関が設置されました。この制度の背景には、大学設置に係る事前規制の緩和があります。その緩和に対して、大学の質を保証する評価システムが構築されたことになり

ます。設置後の教育研究活動等に対して、当該大学以外の第三者による継続的な事後チェックによって、国際的通用性等の観点からも大学としてふさわしい質の維持向上を図るために、第三者評価が導入されているのです。この第三者評価においては7年を区切りとする評価期間が設定され、その間に各大学・短期大学は認証評価を受けることが義務づけられています。

本学は一般財団法人短期大学基準協会の会員校であり、そこでの評価基準のもとに自己点検・評価活動に取り組んでいます。短期大学評価基準の趣旨において、「短期大学が行う自己点検・評価は、第三者評価のためではなく、また、環境の変化への対応やコンプライアンスの強化を図るためだけでもない。自己点検・評価は、短期大学の社会的使命や独自性を認識し、各短期大学が自らの教育研究活動の継続的な質の保証を図るために積極的に取り組むべきものであり、ひいては、短期大学全体、高等教育全体の質の向上と同時に多様性を確保するための礎となるものである。」と記されています。

ところで、この評価制度が始まって12年が経過しています。その間には、大学・短期大学を巡って新たな課題が生じています。教育の質の考え方についても変化しています。このような背景をふまえ、短期大学基準協会が様々な変化に対応するなか、評価基準も変わってきています。現在の評価基準は、4つの基準で構成されています。短期大学の教育の成果を把握した上で、改めてその責任と役割を確認し（基準Ⅰ：建学の精神と教育の効果）、その達成のために提供される教育や支援の状況を明らかにして（基準Ⅱ：教育課程と学生支援）、その教育研究活動や短期大学の組織を支える資源を把握し（基準Ⅲ：教育資源と財的資源）、全体を統括する仕組みを評価・点検する（基準Ⅳ：リーダーシップとガバナンス）という基準になっています。また、選択的評価基準として、教養教育、職業教育及び地域貢献の取組が設定されています。このようなことから、短期大学の全体を見渡し、体系的な自己点検・評価が求められていることとなります。

この認証評価制度のもとに、本学は平成17年度から自己点検・評価活動に取り組んでいます。平成17年度及び平成18年度の取組は、それぞれ自己点検・評価報告書としてまとめています。平成19年度の取組に対しては、平成20年度に第1評価期間における第三者評価を受けています。その結果、平成21年3月に「適格」の認定を得て、ここでの機関別評価結果を加えて、自己点検・評価報告書を刊行しています。その後も年度ごとに取組を重ね、平成22年度自己点検・評価報告書には平成20年度～平成22年度の評価をまとめています。また、東北文教大学短期大学部との相互評価にも取り組んでいます。評価領域としてFD部門と進路支援部門を選び、平成23年11月には相互評価会議を開催して部門別の相互評価を実施し、その報告書を刊行しています。

平成24年度からの取組については、年度ごとに自己点検・評価報告書を作成しています。平成26年度の自己点検・評価に対しては、平成27年度に第2評価期間における第三者評価を受けています。平成26年度の報告書を平成27年5月に短期大学基準協会に提出し、その10月には評価委員による訪問調査を受けています。その結果、平成28年3月に「適格」の認定を受け、高等教育機関としての質が保証されている評価を得ています。ここでの機関別評価結果を加え、自己点検・評価報告書を刊行しています。また、平成27年度についてはすでに報告書にまとめているところです。

本学の自己点検・評価活動においては、5部会を設置しています。第1部会では主に建学の精神と教育効果に関する事項、第2部会では主に教育課程に関する事項、第3部会では主に学生支援に関する事項、第4部会では主に学生募集と入学試験に関する事項、第5部会では主に教育資源及び財的資源に関する事項を対象とし、教員はいずれかの部会に入って活動をしています。各部会の報告はALO（第三者評価連絡調整責任者）のもとで集約され、全学的には自己点検・評価委員会で検討を加え、学園としての自己点検・評価統括委員会で最終チェックを受けるシステムとなっています。

このように、日常の教育研究活動や業務に対して自己点検・評価を取り入れ、主体的に改善を重ねていることは、高等教育機関としての質の保証を図ることはいうまでもなく、むしろ短期大学として地域の幅広いニーズに応え、地域文化を継承していく存在として、地域ではかけがえのない教育機関として、充実を図っていくことへの重要性があります。そういう意味では、絶えざる点検・評価のもとに、教職員が一体となって堅実な教育研究を推進させ、地域との連携を深めながら、本学の独自色を浸透させることができるように努めているところです。関係者の方々には、一層のご支援をお願い申しあげたく存じます。

ビジネスコミュニケーション学科 平成27年度「インターンシップ」報告 同学科ホスピタリティコース 平成28年度「実技演習」(病院実習) 報告

平成28年2月8日(月)から3月18日(金)までの間、17名が12カ所それぞれ5日間のインターンシップをして無事終了しました。京都、大津、近江八幡、長浜市の都市型ホテル、スポーツクラブ、商社と次第に実習場所が増えてきています。

また、日本医師会認定医療秘書の資格取得を目指す学生20名は、夏休み中の2日間、大津市内の3つの総合病院でいくつかの班に分かれて実習をしました。学科内で行われた報告会では、参加した学生が口を揃えて貴重な体験だったと、満足している様子でした。

的確な状況判断

ビジネスコミュニケーション学科 2回生 川本 紗伊



大津イトマンスポーツクラブで5日間のインターンシップをさせていただきました。受付、プール、ジムの3種類の仕事を、参加した三人がそれぞれに分担して行いました。プールでは、実際に水着に着替えて生徒と一緒に泳いだり、先生の補助として生徒のサポートをしたりしました。ジムでは、レッスンが行われる教室の鏡拭きやトレーニングで使われる器械をきれいにし、始まるとレッスンに参加したりトレーニングをしながら、コミュニケーションの取り方や接遇の実践について学びました。困っているお客さまには自分から声をかけること、小さなお子様が多くなる時間帯を見越してロビーを掃除したり、声のボリュームを少し上げたりすること等にも気づきました。

どんなに小さなことでもすぐに気づき、しっかりと周りを見て、瞬時にその場の状況を判断し行動する力をつけることが良い仕事をするにつながることを胸に刻み込んだ貴重な体験でした。

サービスのプロに学ぶ

ビジネスコミュニケーション学科 2回生 松田 千明



私はホテルニューオウミの1階にある和食レストラン「八万ぼり」で5日間お世話になりました。そこでは接客はもちろん、数の数え方から襖の正しい開閉の仕方まで礼儀作法をみっちり教えていただきました。例えば、八万ぼりのテーブル席には4番と9番はありません。これは4は「死」を9は「苦」を連想させてしまうからです。中でも、印象に残っていることは、お客様が湯呑を口にするときに傾ける角度をみてお茶のお代わりを用意するということです。私はそんな心遣いがあるなんて思ってもいなかったのに教えていただいたときは驚きを隠せませんでした。

相手を大事に思う心が、こうした数々のサービスの作法を生み出しているのだと思います。人の心の奥深くにそうっと触れるプロの作法を、この初めての体験で知ることができたことはとても幸せなことだったと、しみじみ感じているこの頃です。

医療事務の現場で

ビジネスコミュニケーション学科 2回生 温井みさき



夏休み中の2日間、私は、JCHO滋賀病院で医療事務の仕事について学びました。1日目の健康管理センターでの実習では、授業で習っている医療用語がたくさんでてきて、それらを覚えることができました。意味も分からずに使っていたので、しっかり学んだという実感がありました。2日目の医療事務課では、担当の方々がカルテを入力しているところを拝見したりカルテ倉庫を見学したりしました。印象に残っているのは、カルテチェックです。この作業は間違いがないかを確かめるもので、担当者は、一枚一枚、素早く、丁寧にチェックをしていました。短い間でしたが、この2日間で授業では学べないことをたくさん学んだ気がしています。同時に、働くことの大変さも学んだと思います。

医療事務作業補助

ビジネスコミュニケーション学科 2回生 増山 雛



2日間の病院実習で大津市民病院へ行き、医師事務作業補助の仕事を体験させていただきました。実習では、診療科がA～Eまでブロックごとに分かれていて、私はEブロックの小児科でした。問診票の入力やカルテの記述、他の病院から送られてきた画像の取り込みをしたほか、練習として診断書の作成について指導をしていただきました。

2日間の実習を終えて感じたことは、一つ一つの仕事を丁寧に取り組むことで、より確実に行えるということです。医師事務作業補助は、基本的には、医師の仕事の補助なので直接患者さまと接する機会はありませんでしたが、書類作成などとてもたくさんの仕事があるうえに、指導してくださった方は医師、他のブロックの受付、会計の方々と常に情報交換をしていってました。2日間、実際の現場に立つことで、明確なイメージをもつことができました。

生活学科実習報告

給食経営管理学外実習で学んだこと

生活学科 食健康コース 2回生 木田 紗璃奈

私は、近江八幡市にある介護老人福祉施設の赤煉瓦の郷で5日間実習を行いました。周りは山々に囲まれ、のどかで素敵な所です。献立作成や嚥下評価チェック、調理や配膳などの厨房業務、レクリエーションに参加するなど、様々な体験や見学をすることができ、大変充実した実習になりました。また、利用者の方々と接する機会も多く、利用者の方からの笑顔がとても嬉しくて素敵な思い出になりました。

今回の実習で印象に残ったことは、食事に対する思いです。赤煉瓦の郷は、ケアハウス、デイサービス、特別養護老人ホームと幅広いため食事の形態も様々です。食べ物の好みや嚥下のレベル、食器、机の高さなど、一人一人の利用者に合わせた丁寧で細かい食事管理が見受けられました。だからこそ、栄養士業務と厨房での業務はより多く、その大変さを実感するとともに、それらの積み重ねが利用者の方々の健康や笑顔に繋がるのだと思いました。食で健康を支え、

人を幸せな気持ちにすることができる栄養士は、命にかかわり大きな責任を伴うとても誇らしい職業であると改めて実感しました。今回の実習で学んだことを活かして、これからも学業に励んでいきたいです。



教育実習を終えて

生活学科 食健康コース 2回生 吉川 瑞希

私は、5月30日から6月3日までの5日間小学校で栄養教諭の教育実習を行い、主に授業見学や研究授業をしました。授業見学で印象に残ったことは「掛け声」があることです。先生が話したい時にクラスがざわついていれば「話してもいいですか。」と声を掛け、子どもたちは「いいですよ。」と揃って返事をします。するとあっという間に全員が話を聞く姿勢になるのです。初めてこのやり取りを見た時は圧倒されました。私も「五大栄養素について知ろう」というテーマで研究授業を行った際、この掛け声を利用しました。グループで話し合う活動を重点的に取り入れた為、クラスを一旦まとめることが必要でしたが、掛け声をかけることにより授業をスムーズに進めることができました。

さらに研究授業後には子どもたちの素直さにも驚かされました。五大栄養素について学習後の給食時間に「先生、牛乳残してもいい？」と、ある男の子に声をかけられました。話を聞くといつも残しているようで、「牛乳にはどんな力があるんだっ？」と授業を振り返るような質問をしてみました。

すると「じゃあ…飲む。」と言い、照れた顔で目の前で飲んでくれました。その他にも、普段は少ししか食べないのに五大栄養素を知ったから全部食べたよと報告してくれる子もいました。私はこの行動が本当に嬉しくて、授業をしてよかったと思いました。子どものうちに学習することがこんなにも意味あるものだを知ることができた実習でした。



幼児教育保育学科実習報告

教育実習を終えて

幼児教育保育学科 2回生 南井 美紀

今回の教育実習では、指導案の書き方について学ぶことを目標にして参加していました。

実習期間中、責任実習や一日保育をさせていただきました。その時指導案を作成し、実際に子どもたちの前で「先生」として責任を持って保育を進めていく難しさや怖さを感じました。設定保育にハサミを使う活動があった際、私は配慮事項を書いていませんでした。担任の先生から配慮すべきことは何かと聞かれ、答えられなかった時に、どう配慮をしていけばいいのか、そのことをどう伝えていけば子どもたちに伝わるのか学びました。指導案を作成する際、活動から考えられる子どもたちの怪我について配慮する必要があるとそこで初めて気づきました。現場での経験を担任の先生から聞き、指導案を考え、実際に保育を進めていったからこそ気づけたことだと感じています。そして、配慮の不十分さに気づくことも出来ました。

実習期間中子どもたちと遊んだ後に、「楽しかったな、またしたいな」と言ってくれる姿に私は、次はもっとこうしようとやる気が湧きました。

今回の実習では、指導案を書く上で重要になる、子どもたちに対する配慮について考えることの大切さや現場での経験の大切さを改めて感じ、そのことについて考え学ぶことが出来ました。これからもっと沢山のことを学び、子どもたちにとってより良い保育ができるようになりたいと思います。



保育実習を終えて

幼児教育保育学科 2回生 青谷 詩織

初めて乳児クラスで実習しました。乳児は幼児と比べて言葉の発達が未熟なため、気持ちに寄り添いながら言葉かけをし、関わるのが非常に大切であることを学びました。また、環境構成として椅子の背もたれに手作りのクッションがあったり正しい姿勢で食べられるように牛乳パックで作った足乗せ台があったりと工夫されていました。この園には0、1歳児クラスと1、2歳児クラスがあり同じ1歳児でも0歳児と生活するのと2歳児と生活するのでは様子が大きく違うことに気づくことができました。

最後の2日は4歳児に入り初めて子どもたちの前でピアノを弾きました。ピアノは苦手ですが挑戦しました。上手く弾くことは出来ませんでしたが挑戦する自信を身につけることができました。

今回の実習で異年齢の保育についてや乳児の言葉かけの難しさを学ぶと同時に子どもたちが日々自ら挑戦していけるように保育者も共に挑戦していくことの大切さを学びま

した。今回学んだことを生かしてさらに知識や技術を深め良き保育者になり、現場に出たいと思います。10日間という短い期間でしたが私にとって実りある10日間であったと思います。



全国私立短期大学体育大会

平成28年8月8日から11日に、東京都他各地で第51回「全国私立短期大学体育大会」が開催され、本学各クラブが出場しました。ソフトテニス部は、「団体優勝」2連覇、バドミントン部も3連覇という快挙を成し遂げました。個人戦でもソフトテニス部は優勝、準優勝、第3位、バドミントン部は、優勝、第3位と優秀な成績を修め、各選手とも健闘しました。大会結果は、右のとおりです。

大会結果

- ◎バレーボール部 第3位
- ◎女子バスケットボール部 ベスト8
- ◎ソフトテニス部
 - 団体 優勝 (2連覇)
 - 個人 優勝 森香穂・前川彩香ペア
 - 準優勝 塚本真奈・徳本明日香ペア
 - 第3位 八田穂乃美・板垣美悠ペア
 - 第3位 村木美帆・北岸麻衣ペア
- ◎バドミントン部
 - 団体 優勝 (3連覇)
 - 個人 ダブルス優勝 脇田渉夢・山根美雪ペア
 - シングルス第3位 藤原遥

ソフトテニス部

主将 幼児教育保育学科 2回生 森 香穂

私たちソフトテニス部は、昨年の全国私立短期大学体育大会に続いて、団体戦2連覇、個人戦ベスト4を独占することができました。

団体戦では全員が団結し、個人戦では各ペアそれぞれが入賞できるように目標をもって試合に臨みました。どんな相手とするとときも声を出し、自分たちのやるべきことが出来たのでこの結果に繋がったと思います。

大会には学長や保護者の方々もお忙しい中応援に来てくださいました。周りの方々から支えられていることに感謝し、これからも日々練習を頑張っていきます。

今後とも応援よろしくお願いします。



バドミントン部

主将 生活学科 2回生 藤原 遥

今年も団体（3連覇）、シングルス、ダブルスの全種目制覇を目標に挑みました。昨年、団体が優勝した時の嬉しさをもう一度1回生と味わいたいという思いと、先輩方がつくってこられた連覇を止めたくないという思いで団体戦に挑みました。初戦から厳しい試合が続きましたが、3連覇を果たすことができました。個人戦では、ダブルス優勝、シングルス3位という結果でした。惜しくも完全制覇には至らず、悔しい思いをしました。しかし、次につながるいい経験になりました。

来年こそ団体（4連覇）、シングルス、ダブルスの優勝をもぎ取り、念願の完全制覇を成し遂げてもらいたいです。日頃のリーグ戦とは違う緊張感のなか、みんなの思いがつながる全短。私にとって、みんなにとって忘れられない大会のひとつです。



女子バスケットボール部

主将 ビジネスコミュニケーション学科 2回生 藤澤 里桜

去年の全国私立短大大会は1回戦敗退という結果になり非常に悔しい思いをしたので、今年はメダルを獲得することを目標に日々練習に取り組んできました。初戦は秋草学園に130-57で快勝し突破しました。準々決勝では目標としていた「勝ってメダルを持ち帰ること」を強く思い、試合に臨みました。しかし前年度準優勝校の近畿大九州短期大学相手になかなか自分達のプレーや練習の成果が出せず満足のいく試合ができませんでした。結果としてはベスト8と悔しい思いをしました。が、どんな状況でも粘り強くやり続ける大切さなど、自分達の課題をたくさん学べることもあったので、この悔しさをバネに次の関西リーグ戦を頑張りたいです。また、卒業生やスタッフの方などたくさんの人のサポートがありバスケットボールが出来ていることも忘れずに頑張っていきたいと思います。



バレーボール部

主将 幼児教育保育学科 2回生 岡山 千沙都

全国私立短期大学体育大会 3連覇ならず

8月8日から東京の大田区総合体育館でバレーボールは開催されました。一昨年、昨年と2連覇を達成しておりました。今年度は3連覇を目標に臨みましたが、結果は一昨年決勝で戦い初優勝した時の相手、武蔵丘短期大学に0-3で敗退しました。この悔しさをバネに、秋からのリーグ戦に向けて練習に励みたいと思います。

大会には理事長そして保護者の方が忙しい中、応援に、激励に足を運んでいただきました。書面をお借りしてお礼申し上げます。そしてあらためて「バレーボールができる感謝の気持ち」を忘れずに日々努力していきたいと思います。



～1156楽しんだもん勝ち～ 純美禮祭を終えて

学生自治会執行部 会長 徳田 朋子



今年で47回目になる純美禮祭が11月5日(土)、6日(日)の二日間にわたって開催されました。いろいろな人が「純美禮祭楽しかった」と、私にとってうれしい声をかけてくれます。今年は学生自治会執行部の皆で「楽しむ!!」を目標に純美禮祭の企画・運営をしてまいりました。その目標が達成できたのではないかと思います。

本学では、学園祭の前日の午後に全学生が協力しあって準備をします。学生たちは自分から「何をしたらいい?」「どこに運んだらいい?」と率先して動いてくれました。そのおかげで前日準備もスムーズに終わることができました。

純美禮祭当日は朝早くから、模擬店の準備をしている学生や先生方の姿が見え、気が付くと一般の方々も体育館の方へ足を運んでくださっていました。体育館で開会宣言が

行われ純美禮祭が開催されました!! グラウンドでは模擬店販売をする学生や、それをおいしそうに食べてくださるお客さんの笑顔があふれていました。体育館のステージでは外部から来てくださったバンドの方々やバルーンパフォーマーの方にステージを盛り上げていただきました。バルーンパフォーマーの方はあらゆるキャラクターを風船で作られ、それをもらった子どもたちの生き生きとした喜びの音があちこちではじけていました。二日目は吉本の芸人さんのスペシャルライブ、特にかつみ♡さゆりさんのボヨヨンのはテレビでしか見たことがなく、実際に見ることができ、会場は一層盛り上がりしました。他にも仮装フェスでは、クリスマスにちなんだ仮装やルービックキューブなど様々な仮装をされていてとても楽しかったです。カラオケ大会では、本学学生だけではなく、一般の方の参加も募ったところ、たくさんの方が参加して下さりステージは大盛況でした。装飾では、学園祭感を出すためにSUMIREの立体文字を作り、玄関の楠の大木の根元に置いたり、廊下に風船などで飾り付けをしたりしてより純美禮祭を楽しんでもらえるように工夫をしました。

純美禮祭を通してたくさんの方々と関わり、助けていただきました。広告掲載に快く応じてくださった企業の皆様、地域の方々、教職員の皆様、学生たち、そして中心となって純美禮祭を盛り上げてくれた純美禮祭実行委員のメンバー等々、たくさんの方々のご協力のおかげで、盛況のうちに純美禮祭の幕を降ろすことができました。本当にありがとうございました。純美禮祭にいらっしゃってくださった皆さんにとって2016年の楽しい思い出の一つになっていることを願っています。また今年いらっしゃっていただけなかった方には、来年こそぜひ、お運びいただきたいと思います。

私たち二回生は純美禮祭が終わって少し寂しい気持ちとやりきった気持ちでいっぱいです。一回生は今年度の経験を活かして、来年はさらに良い純美禮祭が開催されることを期待しています。



平成28年度 美しい日本語コンクール

テーマ「近江文化を通して美しい日本語を学ぶ」



本学学生を対象とした“美しい日本語コンクール”が今年も開催されました。

本年はエッセイ部門に絞った企画となりました。

審査員 今関信子先生(児童文学作家) 大山和哉先生(本学非常勤講師) 清水まゆみ図書館長

【エッセイ部門】入賞者

学長賞

西河 実穂(ビジ2)「『清林パーク』を訪れて」

図書館長賞

永吉 真菜(生2)「滋賀の食事がくれたもの」

山本 由佳(幼2)「『ササユリ』を守るために」

優秀賞

中村 帆風(生1)「長浜曳山祭と郷土料理」

宮本 果歩(生1)「近江の食文化」

大谷 夢(幼1)「近江ならではの方言」

木野菜々子(幼1)「近江商人について」

廣嶋 厚美(幼1)「近江の農業の今と未来」

松居 舞華(幼1)「野洲のシンボル御上山」

吉田妃香留(幼1)「近江の物づくり」

山下 遥香(ビジ1)「知名度か愛着か」

学長賞受賞作品

『清林パーク』を訪れて

ビジネスコミュニケーション学科2回生 西河 実穂

「志賀清林」という名を聞いて、ピンとくる人がどれ程いるでしょうか。大津市木戸出身の奈良時代の力士であり、相撲の作法を作った行司の始祖と言えられる人物だそうです。その功績を記念して、木戸には「清林パーク」という公園があります。私は大の相撲ファンなのですが、偶然インターネットで知るまでは、まったく知りませんでした。力士だけでなく、行司にも関心のある私は、清林の記念碑もあるその公園に、必ず行かなくてはなりません。天気の良い休日をねらって相撲に興味のない父をなんとか誘い、ワクワクしながら出かけたのでした。

家から車で30分ほどで着いた公園には、行司の軍配の形をした広場や、転んでも痛くないように作られた土俵等があり、相撲にちなんだ公園とわかる工

夫があちこちにされています。けれど、子どもたちは別の遊具に夢中で、土俵はがらんとして寂しげでした。私は思わず、土俵の真ん中で土俵入りのポーズを決め、恥ずかしがる父に記念撮影を頼みました。父は、しばらくすると、いつもより妙に浮かれたもう20歳にもなる私とただ広い公園の中を歩き回ることになったようで、「そろそろ帰ろう」と言い出しました。

最後に清林の記念碑を探しまわって公園から少し離れた場所にやっと見つけだし、その隣の埋骨之碑にも、手を合わせて帰りました。記念碑の文は、板垣退助のものだそうです。板垣は大の相撲好きで、相撲業界の振興につとめていたとされていて、清林の偉大さを表しているように思えました。帰り道で、「大したことがなかったな。」と言う父とは逆に、相撲の歴史を作った人物が滋賀県出身で、記念碑や公園まであることを嬉しく誇らしく思い、「あの板垣退助が…」とそっとつぶやきました。

滋賀短期大学教育研究充実基金 寄付報告

平成28年4月28日から平成28年11月21日までの間に、滋賀短期大学教育研究充実基金へのご寄付に対しまして心よりお礼申し上げます。ここにご寄付を賜りました方々のご芳名を掲載させていただき、感謝の意を表します。

堀川眞一様、北村幸吉様、大橋年幸様、北野志帆様、進藤さよ子様、田中寿代様、
古屋充俊様、吉田竜一様、岡田政人様、住田建国様、雨森梨緒様

以上 11名(順不同)

私の青春時代

弓矢とともに過ごした大学時代

今の学生を見ていると「青春しとるなあ～！あの頃に戻りたい」などと思い、彼らの姿と、自分の学生時代のころとを重ね合わせて考えることが多くあります。ここではそんな中から大学時代の私について書いてみたいと思います。

大学時代は弓道部に所属していました。主な理由は、素敵な先輩に勧誘されたことでした（外国語大学ということで女子が8割を占めています）。後付けの理由は、これまでとは違うことに挑戦してみたいと思ったからということにしています。最初は軽い気持ちで入部したのですが、入ってびっくり、最近の言葉でいうと「ガチ」の体育会系の部活で、上下関係は厳しく、練習もハードでした。しかし道場に通ううちに弓道の面白さにハマり、的中率を上げるために練習に打ち込みました。どれくらい打ち込んだかというと、授業はサボるわ、アルバイトはやめてしまうわ、挙句の果てには就職活動までやめてしまいました。今の学生に「授業にしっかり出るように！」「就活しっかりせえよ！」と叱咤するのですが、彼らに私の大学時代の話はととてもできません。

ビジネスコミュニケーション学科 講師 金澤 雄介

卒業後は大学院に進学し、定職に就くのに同期より10年遅くなってしまいましたが、4年間の弓道部生活で得たものは何物にも代えがたいと自負しています。大げさかもしれませんが、今の学生にも、この2年間で本当に自分のやりたいことを見つけて、それをとことんやり通してほしいといつも思っています。



私の青春時代

越境して通っていた大阪市立の中学時代はバレーボール部で、当時は9人制だったのでローテーションもなく、バックのどこかに固定で入っていた。2年生のときは、3年生に強力なスパイクを打てる筋肉隆々の右のアタッカーと上から真下に打ち落とせる長身の左アタッカーを擁し、大阪市・府の大会で優勝するほどの強さであった。練習は正月三が日以外年中休みなしであった。この学年が卒業して我々が3年生になると力不足で、上位に食い込むことはできなくなった。夏前に、練習中にプレーのためにしゃがんで立とうとしたら、左の足が伸ばせなくなった。膝が故障したのだった。それを機に退部して、土曜の午後は、阪神百貨店の地下でお昼を（名物のイカやきのことも・・・）食べて、当時は大阪市内に6館ぐらいはあった洋画3本立ての映画館に行き、休みの日はそれをハシゴするような生活になった。アイススケート場にもよく通うようになった。団体滑走券は一人200円ぐらい、と安かったので、学校で休み時間にスケート好きの

生活学科 特任教授 柳父 立一

同学年の何人かに声をかけて、何日何時にリンク前集合、と決めて、それぞれ何人かを誘い集め、人数が不足するときは、リンク前で一緒に団体で入りませんか、と一般客に声をかけて団体券で入場した。いかにも大阪の中学生らしい生活だったのではないだろうか。



保健室だより

保健室 平田 綾子

「若い世代のコンタクト使用率が上昇し、コンタクトレンズが原因の眼障害も増加している」というニュースを耳にしたので、コンタクト使用率を調べてみました。

平成27年12月に実施されたコンタクトレンズ/ビューティーレンズ調査（WEBモニターによるオンライン調査で回答者は全国に住む16歳以上60歳以下の消費者36,588名）によると、16歳～30歳の女性は、44%がコンタクトレンズを使用し、このうち12%がビューティーレンズ（ファッション目的でレンズの周囲にラインのあるサークルレンズとカラーコンタクトレンズを指す）を使用していたそうです。16～30歳の男性では約22%がコンタクトレンズを使用し、このうち約2.5%がビューティーレンズを使用していたそうです。

保健室にも「目がゴロゴロして…」「目が赤くて…」「目が痛くて…」「涙が止まらなくて…」等ビューティーレンズによる目の違和感を訴えて来室する女子学生が多いです。本学では女子学生のビューティーレンズの使用の割合は調査結果の12%より多いのではないかと感じています。

ビューティーレンズの購入先を訪ねてみると、「このカラーコンは安かったから、ネットで買った。眼科には行ってない。」と答える人も少なくありません。

コンタクトレンズは、高度管理医療機器です。初めてカラーコンタクトレンズを使う人は、必ず眼科を受診し、自分の目に合ったレンズを処方してもらってください。また、目に異常を感じる時は、すぐに眼科を受診するようにしてください。保健室ではあなたの目が心配です。悪くなっても簡単

カラコン 適正使用 7ヶ条

- ① 購入前は、眼科へ行こう。
- ② 添付文書をよく読んで正しく使おう。
- ③ 装用期間を守ろう。
- ④ 異常があったら、すぐに眼科へ行こう。
- ⑤ 友達との貸し借りはやめよう。
- ⑥ ケア用品を使ってケアしよう。
- ⑦ 定期検査は必ず受けよう。

厚生労働省 HP 内

独立行政法人医薬品医療機器総合機構より

第66回全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会

平成28年9月24日(土)、草津市のホテルポストプラザ草津びわ湖にて、第66回全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会が開催されました。

定例総会では、第20回医療保険請求事務実技試験について（平成28年10月29日実施）、第37回日本医師会認定医療秘書試験について（平成29年2月5日実施予定）、また、医療秘書学院加入校の現況報告（在籍学生数、就職内定状況など）の報告をいたしました。

総会終了後の懇親会では、アトラクションとしてジャグリング（滋賀短期大学附属高校 木下洗希さん）、ソプラノ・フルート・ピアノ演奏（京とりこ：幼児教育



ビジネスコミュニケーション学科 特任助教 久保 寛司（保育学科 柚木たまみ教授他）の披露があり、大変素晴らしい時間を過ごすことができました。

今年度は滋賀県が担当県であり、滋賀県医師会と本学事務職員の皆様のおかげで無事開催できました。ご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。



同窓会だより

同窓会会計 酒井 弘子

同窓生の皆さまにおかれましては、益々お元氣でご活躍のことと存じます。

平成28年度同窓会の総会及び懇談会を9月4日(日)に滋賀短期大学内において開催しました。お忙しい中、ご出席いただきました会員の皆さま、教職員の方々、ありがとうございました。総会では平成27年度決算報告をはじめ、すべての議事が無事承認されましたので、ご報告申し上げます。

総会後は、製菓担当特任教授の金丸政義先生のご指導により、今年は、ウィーンのチョコレート焼菓子「ザッハマッセ」に挑戦しました。また、ケーキを焼いている間に、もう一品「シガレット」という焼菓子を作りました。助手の入江晴香先生、砂原知尋さん、ベーカリー塾の学生さんにお手伝いいただいたおかげで、素敵なケーキを完成させることができました。お世話になりありがとうございました。心から感謝いたします。その後、学内の食堂にて懇談会を開催しました。会食や自己紹介・近況報告、ビンゴゲームを行い、懐かしい友達や先生との話に花を咲かせました。また、年代の違う会員とのコミュニケーションも図ること

ができ、和やかに楽しく過ごすことが出来ました。

来年は、今回出席してくださった卒業生の皆さんが、身近な同窓生を誘い合ってより多くの会員の方々にご参加いただけることを役員一同心よりお待ちしております。



後援会だより

滋賀短期大学 後援会 会長 奥村 志賀子

後援会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、後援会活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

また、11月5日(土)、6日(日)の両日に「第47回純美禮祭」が盛大に開催されましたことを心からお祝い申し上げます。純美禮祭実行委員の皆さんにおかれましては、プログラムの企画、協賛・協力店の開拓、模擬店の勧誘、事前準備から後片付けまで細部にわたり目配り気配りを忘れず実行されたことに敬意を表します。本当にお疲れ様でした。

さて、私達後援会役員は、2日目の6日(日)に模擬店の一角をお借りして学園祭にお越しのお客様や学生に「炊込みご飯とお茶」の提供をさせて頂きました。炊込みご飯は、米料理の一つで、五目ご飯、五目飯ともいいます。関西では加菜ご飯(かやくご飯)かやくめしとも言います。ご飯を炊く際に秋の味覚のキノコ、ゴボウ、ニンジンな

どの具を米と一緒に炊き込んで作るご飯で、収穫の秋に季節の食材を使って作ることが多いと言われています。冷めても美味しいご飯のため、季節柄学園祭の時に毎年提供させて頂いています。大小2種類のパックをご用意しましたが、今年はいつもより量を増やして提供させて頂き、お陰様で完売いたしました。



平成28年度 公開講座

淡海文化講座

広報・図書委員 特任助教 松井 典子

今年度の淡海文化講座は、4講座を2日間にわたり開催いたしました。10月11日(火)は、ジュスカ・グランパールの「～水と音楽～」をテーマにしたコンサートに始まり、次に本学生活学科、中平真由巳教授による「命をつなぐ保存食～民族の知恵に学ぶ～」をテーマに講演をしていただきました。

10月14日(金)は、本学ビジネスコミュニケーション学科、江見和明准教授による「大津市における高齢者の暮らしについて～何歳になっても楽しみを持てるまちづくり～」についての講演と「地域の中のアート～レジャ・エミリア市に学ぶ～」をテーマに本学幼児教育保育学科、手良村昭子教授に講演をしていただきました。



オープニングを飾っていただいたジュスカ・グランパールは、ギター高井博章氏とヴァイオリンひろせまこと氏によるインストゥルメンタル・アコースティック・デュオで、講座では、彼らのオリジナル曲やビゼー作曲の歌劇「カルメン」から“ハバネラ”を哀愁漂うギターとダイナミックなヴァイオリンの演奏に多彩なアレンジを加えて演奏していただきました。また、琵琶湖に関するエピソードを演奏の間に交え、和やかな雰囲気の中でコンサートは進められました。コンサートにお越しいただいた地域の皆様も彼らの音楽に魅了され、楽しい一時を過ごされました。

今後も、地域の皆様にご満足いただけるような多様な講座を開催したいと思います。



こども講座

広報・図書委員 教授 手良村 昭子

地域の子どもたちを対象としたこども講座を本年度も開催いたしました。「こども書道教室」「こども英語教室」「こども陶芸教室」「こどもフラワーアレンジ教室」の4つの講座は今年も早々に満席となり、たくさんのこどもたちに参加していただきました。

こどもフラワーアレンジ教室の今年のテーマは、「サマーフラワーアレンジ」と言うことで、ひまわりやマリーゴールドと言った夏を代表するお花をつかい、華やかにアレンジしていきました。こどもたちは1本1本のお花を丁寧に扱いながら、対話をするようにそれぞれの思いをバスケットの中に表現していきました。同じ素材を使っても出来上がった作品はそれぞれ違って、どれも大人顔負けのセンスの良いアレンジでした。こどもたちの表現の豊かさには毎年驚かされることばかりです。

今後も、この講座がこどもたちの学びの場として活かされていく事を願い、皆様のご意見を参考にしながら、開催していきたいと思っています。



すみれキャリア講座

広報・図書委員 教授 手良村 昭子

今年度のすみれキャリア講座は、「銅版画教室・初心者向け」「銅版画教室・経験者向け」「楽しく作るパンの時間（その10～13）」「Beads Tableau～ビーズで表現するあなたの世界～」「スウェーデンハンドセラピー」の8講座を開講しました。

本学の金丸特任教授による「楽しく作るパンの時間」は、（その10～スイスの伝統的なパン～）（その11～イギリスとフランスのパン～）（その12～デンマークのパン～）（その13～ウィーンのパン～）と今年度はそれぞれが独立した講座として開催しました。受講生の方たちからは、特徴のあるヨーロッパのパンの世界を実際に作ることを通して楽しむことが出来たと大変好評でした。

今年3回目となった、本学の前川秀治名誉教授による

「銅版画教室」は、初心者向けと経験者向けに分けて開講しました。昨年度から引き続き受講しておられる方たちには、さらに新しい技法を学んでいただき、銅版画の世界の面白さを感じて頂きました。初心者の講座では、今回親子の参加もあり、小学生の受講生は、前川先生の丁寧な指導のもとにドライポイントの技法を使った作品に取り組みました。最終日には各々の作品を持ち寄って合評会が行われ、次の制作につながっていくものとなりました。

本学のすみれキャリア講座は、地域の皆様の生涯学習の場として活用していただけるように、今後も皆様のご意見を参考にしながら開催していきたいと考えております。



滋賀医科大学との共催講座

広報・図書委員 特任教授 堀池 喜八郎

暑さきびしい7月23日(土)、平成28年度の滋賀短期大学と滋賀医科大学との共催公開講座を本学で開催しました。

今回のテーマは「肥満について」でした。滋賀医科大学・山田尚登（やまだなおと）副学長の挨拶に始まり、2つの講演が行われました。佐藤尚武学長の謝辞で講演の部を終え、引きつづき希望者による調理実習を実施しました。この講座は毎回講演と調理実習の2部構成です。

講演は、卯木智（うぎさとし）講師（滋賀医大・糖尿病内分泌内科）による「食生活と肥満の関係を科学する」と、安原祥子（やすはらしょうこ）管理栄養士（滋賀医大病院・栄養治療部）による「食生活から肥満を考える」です。お二方は、肥満についての医学・科学、肥満を予防する食生活の実際について、それぞれわかりやすく解説されました。今話題の「糖質制限ダイエット」にも具体的に言及されました。要は1日の総エネルギー（カロリー）の量と栄養素のバランスが問題であり、過度の制

限は健康を害する場合があります。両講演とも多くの方が活発に質問され、時間が足りないほどでした。

調理実習のテーマは「しっかり食べて肥満予防～食物繊維でおなかスッキリ～」です。生活学科の高橋ひとみ助教や滋賀医大病院の栗原美香主任管理栄養士の指導のもと、本学学生が補助をし、参加者の皆さんは楽しく実習、試食されました。たいへん有意義な公開講座でした。



学校法人純美禮学園 法人本部報告

平成27年度決算状況

学校法人純美禮学園の平成27年度決算は、公認会計士の監査、学園監事の監査、理事会・評議員会の承認を経て、確定いたしましたので報告いたします。

事業活動収支計算書は、当該会計年度の各事業活動における収支の内容及び均衡の状態を明らかにし、貸借対照表は、本学園の年度末の資産状況を明らかにするものであります。

事業活動収支計算書

1. 教育活動収支の部

単位：千円

科 目	年 度	平成27年度決算額
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,120,046
	手数料	36,593
	寄付金	6,196
	経常費等補助金	457,967
	付随事業収入	5,978
	雑収入	86,664
	教育活動収入計 ①	1,713,444
事業活動支出の部	人件費	1,086,971
	教育研究経費	425,505
	管理経費	83,222
	徴収不能額等	414
	教育活動支出計 ②	1,596,112
教育活動収支差額 ③ (①-②)		117,332

2. 教育活動外収支の部

事業活動収入の部	受取利息・配当金	32,552
	その他の教育活動外収入	0
	教育活動外収入計 ④	32,552
事業活動支出の部	借入金等利息	2,354
	その他の教育活動外支出	0
	教育活動外支出計 ⑤	2,354
教育活動外収支差額 ⑥ (④-⑤)		30,198
経常収支差額 ⑦ (③+⑥)		147,530

3. 特別収支の部

事業活動収入の部	資産売却差額	8,110
	その他の特別収入	26,780
	特別収入計 ⑧	34,890
事業活動支出の部	資産処分差額	1,202
	その他の特別支出	16,300
	特別支出計 ⑨	17,502
特別収支差額 ⑩ (⑧-⑨)		17,388

基本金組入前当年度収支差額 ⑪ (⑦+⑩)		164,918
基本金組入額合計 ⑫		141,970
当年度収支差額 ⑬ (⑪-⑫)		22,948
前年度繰越収支差額		▲ 1,131,510
基本金取崩額		0
翌年度繰越収支差額		▲ 1,108,562

(参考)

事業活動収入計 ①+④+⑧		1,780,886
事業活動支出計 ②+⑤+⑨		1,615,968

貸借対照表

単位：千円

科 目	年 度	平成27年度末
資 産 の 部	固定資産	[4,544,826]
	有形固定資産	(2,932,112)
	土 地	333,352
	建 物	1,994,915
	構築物	47,159
	教育研究用機器備品	254,713
	管理用機器備品	16,901
	図書	277,045
	車両	8,027
	特定資産	(1,611,968)
	退職給与引当特定資産	115,073
	減価償却引当特定資産	1,098,259
	住宅貸付引当特定資産	34,748
	第3号基本金引当特定資産	363,888
	その他の固定資産	(746)
	流動資産	[699,217]
	現金預金	593,400
	未収入金	103,574
	前払金他	2,243
資産の部合計 (A)		5,244,043
負 債 の 部	固定負債	[365,227]
	長期借入金	98,800
	退職給与引当金	266,427
	流動負債	[309,826]
	短期借入金	35,530
	未払金	15,203
	前受金	237,114
	預り金	21,979
負債の部合計 (B)		675,053
純 資 産 の 部	基本金	[5,677,552]
	第1号基本金	5,174,664
	第3号基本金	363,888
	第4号基本金	139,000
	繰越収支差額	[▲ 1,108,562]
	翌年度繰越収支差額	▲ 1,108,562
純資産の部合計 (C)		4,568,990
負債及び純資産の部合計 (B) + (C)		5,244,043

短期大学行事等開催状況（平成28年6月～平成28年11月）

（総務課に届出済（届出分）の一部を掲載しています。：短大事務局）

6月

- 2日(木) 教授会、教学マネジメント部会、入学試験委員会、FD学内研究会
- 4日(土) 教育懇談会、後援会総会、ホームカミングデー（幼教）
- 9日(木) 教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生募集委員会、すみれがーでん
- 10日(金) 中間監査
- 11日(土) 夏のオープンキャンパス
- 12日(日) 夏のオープンキャンパス
- 13日(月) 地域移動講座（甲賀市）
- 14日(火) 給食経営計画実習食事提供
- 15日(水) 体育大会（県立体育館）
- 16日(木) 就職支援講座、高校教員対象入学試験説明会（本学）、危機対策本部会議、教学マネジメント部会、企画委員会、地域連携教育講座運営委員会、おはなし会
- 17日(金) 水曜日授業、高校教員対象入学試験説明会（彦根会場）
- 18日(土) 幼2回生木曜日授業（6月9日代替）、
- 20日(月) 月曜懇談会（琵琶湖ホテル）、学園事務連絡会議
- 21日(火) 高校教員対象入学試験説明会（草津会場）
- 23日(木) 人事委員会、教学マネジメント部会、科会、すみれがーでん
- 24日(金) 附属高校実践講座、高校教員対象入学試験説明会（京都会場）、地域移動講座（長浜市）
- 25日(土) リーダーズ・トレーニングⅠ、附属高校保護者と教師の会
- 26日(日) 公務員対策模擬試験、滋賀短Kids
- 30日(木) 就職支援講座、滋賀県大学図書館連絡会、危機対策本部会議、自己点検・評価委員会、おはなし会

7月

- 2日(土) 保育内容表現発表会
- 5日(火) 給食経営計画実習食事提供
- 6日(水) 人権委員会、SD委員会
- 7日(木) 教授会、教学マネジメント部会、自己点検・評価委員会、学内研究会、Ⅰ回生教務オリエンテーション、すみれがーでん
- 8日(金) 地域移動講座（高島市）
- 9日(土) 幼2回生金曜日授業（6月10日代替）
- 12日(火) 給食経営計画実習食事提供
- 14日(木) 教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生募集委員会、おはなし会
- 16日(土) 夏のオープンキャンパス
- 17日(日) 夏のオープンキャンパス
- 21日(木) 補講日、教学マネジメント部会、企画委員会、学生募集連絡会議、すみれがーでん
- 22日(金) 文部科学省の学校法人運営調査委員による実地調査
- 23日(土) 滋賀医科大学との共催公開講座、竜が丘山の手自治会との意見交換会
- 24日(日) 家庭的保育推進事業基礎研修（主催：滋賀県保育協議会）
- 26日(火) 中間監査
- 28日(木) 科会、職員研修、おはなし会
- 29日(金) 前期定期試験（8月4日(木)まで）
- 31日(日) 家庭的保育推進事業基礎研修（主催：滋賀県保育協議会）

8月

- 2日(火) 日本医師会認定医療秘書養成に関わる運営委員会
- 4日(木) 教授会、教学マネジメント部会、学内研究会、危機対策本部会議、ストレスチェック説明会、
- 5日(金) 夏季休業（9月23日(金)まで）、AO入試事前面談（Ⅰ期）
- 6日(土) AO入試事前面談（Ⅰ期）、すみれキャリア講座（銅版画（経験者））
- 8日(月) 全国私立短期大学体育大会（8月11日(木)まで）、入学試験委員会、こども講座（書道（小学校1、2年生））
- 9日(火) すみれキャリア講座（銅版画（初心者））、こども講座（英語（初心者、経験者））、滋賀短kids
- 10日(水) こども講座（書道（小学校3～6年生）、英語（初心者、経験者）、陶芸、フラワーアレンジ）
- 17日(水) 職員研修
- 18日(木) 生活科会、教学マネジメント部会、企画委員会、教務委員会、すみれキャリア講座（パン（その10））、こども講座（陶芸）
- 19日(金) 管理職研修、中堅職研修
- 20日(土) 夏のオープンキャンパス、図書館連携講座（和邇図書館）、学生募集委員会
- 21日(日) 家庭的保育推進事業基礎研修（主催：滋賀県保育協議会）

- 22日(月) すみれキャリア講座（パン（その11））、こども講座（書道（小学校1,2年生））
- 23日(火) 滋賀県高大連携講座、すみれキャリア講座（銅版画（初心者））
- 24日(水) すみれキャリア講座（パン（その12））、こども講座（書道（小学校3～6年生））
- 25日(木) 職員研修、幼教科会、ビジコミ科会、科目等履修生試験（生活）
- 26日(金) AO入試事前面談（Ⅱ期）、すみれキャリア講座（銅版画（初心者））
- 27日(土) すみれキャリア講座（銅版画（経験者））
- 30日(火) 入学試験委員会、科目等履修生試験（幼教）、すみれキャリア講座（銅版画（初心者）、パン（その13））

9月

- 1日(木) 教授会、教学マネジメント部会、FD学内研究会、学内研究会、すみれがーでん
- 3日(土) 家庭的保育推進事業基礎研修（主催：滋賀県保育協議会）、すみれキャリア講座（銅版画（初心者））
- 4日(日) 同窓会総会、ホームカミングデー（生活）
- 6日(火) すみれキャリア講座（銅版画（初心者）、ビーズタブロー）
- 8日(木) 教務委員会、広報・図書委員会、学生募集委員会、おはなし会
- 10日(土) すみれキャリア講座（銅版画（経験者））
- 14日(水) 施設実習連絡協議会、すみれキャリア講座（スウェーデンハンドセラピー）
- 15日(木) 国際交流委員会、学生支援委員会、教学マネジメント部会、企画委員会、すみれがーでん
- 17日(土) AO入試事前面談（Ⅲ期）、図書館連携講座（和邇図書館）、すみれキャリア講座（銅版画（経験者））
- 20日(火) 前期成績交付、Ⅰ・Ⅱ回生教務オリエンテーション、リーダーズ・トレーニングⅡ、入学試験委員会
- 21日(水) 前期再試験、中間監査
- 22日(木) 滋賀短kids
- 23日(金) 前期再試験
- 24日(土) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会（ホテルボストンプラザ草津びわ湖）
- 29日(木) IR部会、科会、すみれがーでん
- 30日(金) 附属高校実践講座

10月

- 4日(火) 辞令交付式、大津SAとのメニューコンテスト審査会議
- 6日(木) 教授会、附属高校との高大連携調整会議、学内研究会、地域連携教育講座運営委員会、おはなし会
- 7日(金) 学園事務連絡会議
- 8日(土) AO、指定校推薦、特別推薦、SP推薦Ⅰ期、公募制推薦前期（A日程）入試
- 10日(月) （祝日）月曜日授業
- 11日(火) 淡海文化講座、入学試験委員会
- 13日(木) 臨時教授会、危機対策本部会議、教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生募集委員会、すみれがーでん
- 14日(金) 淡海文化講座
- 15日(土) 図書館連携講座（北図書館）、ITパスポート
- 20日(木) 企画委員会、自己点検・評価委員会、教学マネジメント部会、防災訓練、おはなし会
- 22日(土) 滋賀短kids、ITパスポート
- 23日(日) ITパスポート
- 25日(火) IR部会
- 26日(水) 地域移動講座（東近江市）
- 27日(木) 施設整備委員会、科会、すみれがーでん
- 29日(土) 公募制推薦前期（B日程）入試

11月

- 2日(水) 入学試験委員会
- 3日(木) （祝日）木曜日授業、教授会、教学マネジメント部会、おはなし会
- 5日(土) 純美禮祭、滋賀短kids
- 6日(日) 純美禮祭、滋賀短kids、ホームカミングデー（ビジコミ）
- 10日(木) 教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生募集委員、すみれがーでん
- 16日(水) 保育所実習連絡協議会
- 17日(木) 企画委員会、部科局長会議、おはなし会
- 23日(水) （祝日）水曜日授業
- 24日(木) 科会、すみれがーでん

KDKファッショングランプリコンテスト「京都百貨店協会賞」を受賞して



生活学科 ライフデザインコース 1回生 植村 風香

『ファッションデザイン実習』の授業で「KDKファッショングランプリコンテスト」へ応募できると知り、すぐに挑戦を決めました。自分でデザインしたドレスを製作し、ファッションショーに出演するという体験は滋賀短期大学に在学しているからできることです。考えるだけでワクワクしました。しかし、コンテストのテーマ「艶麗の森」からイメージを膨らませて作品を仕上げる作業は想像していたよりも大変で、自分の未熟さを痛感しました。先生方のアドバイスを受け、先輩方の作品を参考にして友人と励ましあいながら頑張りました。苦労もありましたが、ドレスが完成した時の達成感は今まで経験したことのない大きいものでした。「京都百貨店協会賞」を受賞できたのは、支えて下さった周りの方々のおかげだと感謝しています。来年も応募して、この経験を活かしたいと思います。

ベーカリー塾・ダンスサークルが「ZeZe ときめき坂Halloween」に参加

学生支援委員 准教授 深尾 秀一

7年目を迎えた「ZeZe ときめき坂Halloween」が10月30日(日)に大津バルコの三角広場で開催されました。滋賀短期大学からはベーカリー塾とダンスサークルが参加しました。ベーカリー塾はグルメコーナーで、かぼちゃドーナツをその場で揚げ販売し、早々に300食を完売しました。また、ダンスサークルは広場のステージでダンスを披露し、観衆を巻き込みイベントを大いに盛り上げました。昼からのパレードにも仮装に趣を凝らし両サークルとも参加。表彰式では共に賞をいただきました。最後に、このような機会を

与えてくださった実行委員会にお礼を申し上げます。



留学生等研修

国際交流副委員長 教授 小山内 幸治

10月8日(土)、留学生等日本文化研修として、生活学科の朴 霄鎮（パク・ソジン）さん、ビジネスコミュニケーション学科の朱紅（シュ・ホン）さんの留学生2名が大津祭・宵宮を見学しました。事前にNPO法人大津曳山連盟の中野氏から曳山の歴史等を学び、当日は公益財団法人 大津市国際親善協会のガイドボランティアの檜山さんに、曳山展示館、各曳山など随所で大津祭に関する説明をしていただきました。学生は、興味深く聞いて、熱心にメモをとり、研修後提出するレポートに備えていました。また、天孫神社にお参りし、出

店での買い物も体験しました。見学終了後は、天孫神社近くの清水たまた子特任教授のご自宅を提供していただき、お弁当や飲み物を楽しみながら、国々による文化の違いなどの話で盛り上がりました。本学に留学していればこそ体験できる地域文化として、学生は楽しみながらも様々なことを学び、感じ取ったように思います。



人事の異動

9月30日付異動

退職 入試広報課 非常勤職員 中村 善郎

10月1日付異動

配置換	教務課	主任	中塚 豊（学生支援課主任）
	総務課	主任	辻 順一（教務課主任）
	学生支援課	主事	松岡 佑樹（総務課主事）

訃報

山崎 千枝名誉教授（昭和45年4月1日～昭和61年3月31日）平成28年11月12日ご逝去されました。

ここに、謹んでお悔やみ申し上げ、追悼の意を表します。